

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	旧園里学校	所在地	豊丘町	
施設分類	市民文科系施設	所管課	文化スポーツ課	
財産区分	行政財産	延床面積 (m ²)	242.58	
居住誘導区域	×	防災関連施設	×	
設置根拠	須坂市文化財の保存と活用に関する条例	設置の目的・経緯	明治期の学校建築として貴重な建物を公開する	交通アクセス 豊丘小学校バス停から徒歩3分
事業内容	展示公開	貸付の有無	有	
管理運営の状況	直営・一部委託	委託内容	施設の開閉、日常清掃、施設案内	
備考 (その他特記事項)				

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上 2 地下	建築面積		延床面積	242.58
構造 (主たる建物)	木造	建築年度 (主たる建物)	1883 (復元 1992年)	築年数 (主たる建物)	140
取得価格	49,800,000	耐震化の状況		耐震改修未実施	
帳簿原価	49,800,000	バリアフリー対応		なし	
減価償却累計額	49,584,719	省エネルギーの対応状況		なし	
老朽化率	100%	施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
人件費		0	0		0
委託料		99	102	108	103
光熱水費		81	76	81	79
維持補修費		0	50	0	17
減価償却費		24	24		24
指定管理料		0	0	0	0
その他		44	44	55	48
費用合計		248	296	244	263

収入	利用料等収入	0	0	0	0
	国庫補助金等収入	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
収入合計		0	0	0	0

収支	-248	-296	-244	-263
利用者一人当たり収支	0.67	0.84	1.02	0.82

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	どなたでも	
開館時間	平日	見学希望により開館
	休日	GWのみ10時から16時
休館日	土日祝日・年末年始	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
年間利用者数	371	353	239	321	-26%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	称
		旧園里学校

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	合計	1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない (50%未満)
	B	1	平均と比較して少ない (50%以上100%未満)
	C	0	平均と比較し同規模 (100%以上150%未満)
	D	-1	他施設と比較して多い (150%以上200%未満)
	E	-2	他施設と比較してかなり多い (200%以上)

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	合計	-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた (10%以上)
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた (0%以上)
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った (-5%以上)
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った (-10%以上)
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	D	-2	100%
耐震性能	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	合計	-6	

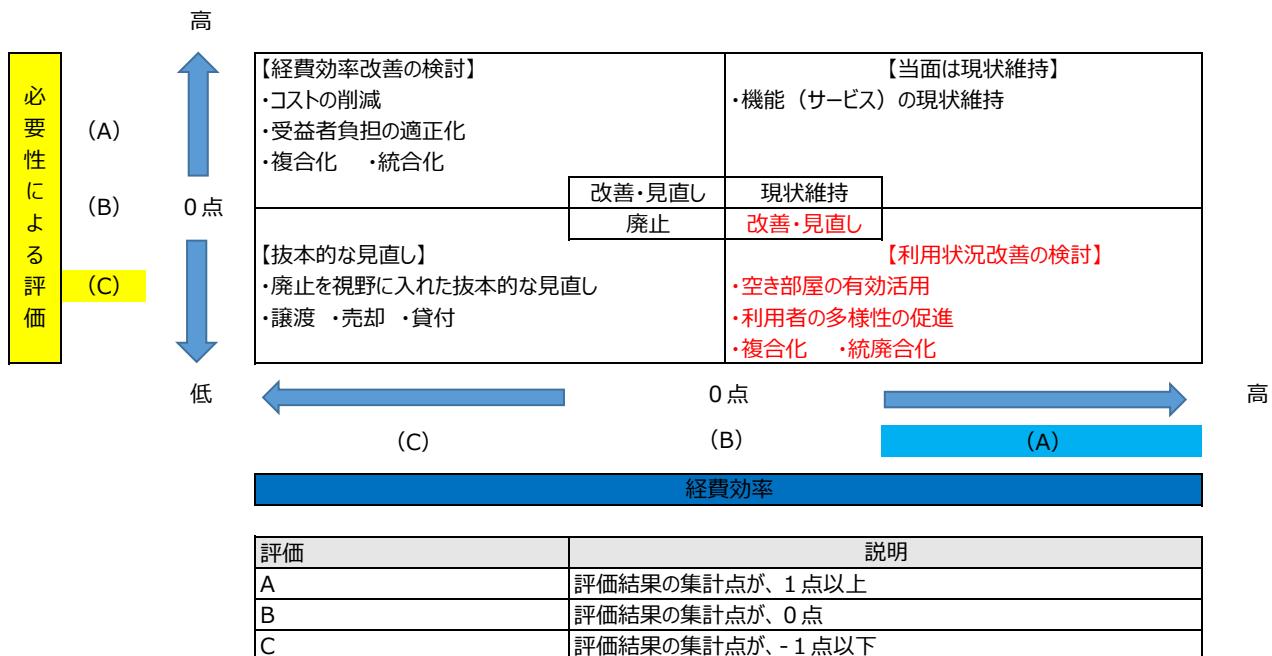
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	1
縦軸	必要性による評価	-1
	合計点数	0

【利用状況改善の検討】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-6
縦軸	必要性と経費効率からの評価	0
	合計点数	-6

【抜本的な見直し】

